

ケナフの会の活動（2021年秋冬期①）

ケナフの会ニュースレター63号（2021年12月3日発行）

ケナフの会の本来の水準を目指して、感染状況に注意を払いながら、一步一步活動を進めています。

（紙漉き）

- ・ビバハロウィンでは計画の2倍以上の児童・幼児の皆様を受入れて、紙漉きを楽しんでもらいました。（10月30日）

（栽培）

- ・今年度は2年ぶりにK S Cの畑でケナフとローゼルを育てることが許可され、いろいろな課題を乗り越えて収穫の日を迎えることが出来ました。（11月15日）

（染物・ジャム）

- ・収穫したケナフの花を使って染物づくり、ローゼルの実(苞の部分)を活用してジャムづくりをしました。（11月26日）

ビバ ハロウィン (21年10月30日)



- ・ 昨年を大きく上回る140組超の児童・幼児と保護者の皆様を受入れて、葉書づくり等を楽しんで貰いました。
- ・ スタッフは午前13名・午後12名のギリギリの人数でしたが、大奮闘して貰い無事完了することが出来ました。
- ・ コロナ感染拡大は一時のような勢いはなくなりましたが、感染対策を取って紙漉きを実施しました。

ケナフ等の収穫（21年11月15日）



- グループわケナフの会は畑全体の約50%を担当し、ケナフ約200本・ローゼル約50本の収穫を13名の会員で実施しました。
- 今年度のケナフは太いものが少なかったですが、パルプ用の皮を大袋2袋半・炭焼用の幹を大袋2袋弱収穫することが出来ました。
- ローゼルの実は1,300個強を摘み取ることが出来ました。

染物づくり と ジャムづくり (21年11月26日)



- ・ 染物づくりを、染物教室の準備も兼ねて、11名の会員によりK S C園芸室で行いました。
- ・ ケナフの花びら等でストールとハンカチの染物をつくりました。ハンカチには絞りを入れ薄いグレー等に染め、ストールは鮮やかなイエロー等に染めました。
- ・ あわせて調理室でローゼルのジャムをつくりました。用意していたローゼル茶と共に楽しく味わいました。ジャムはお世話になっている児童館等にも届けました。